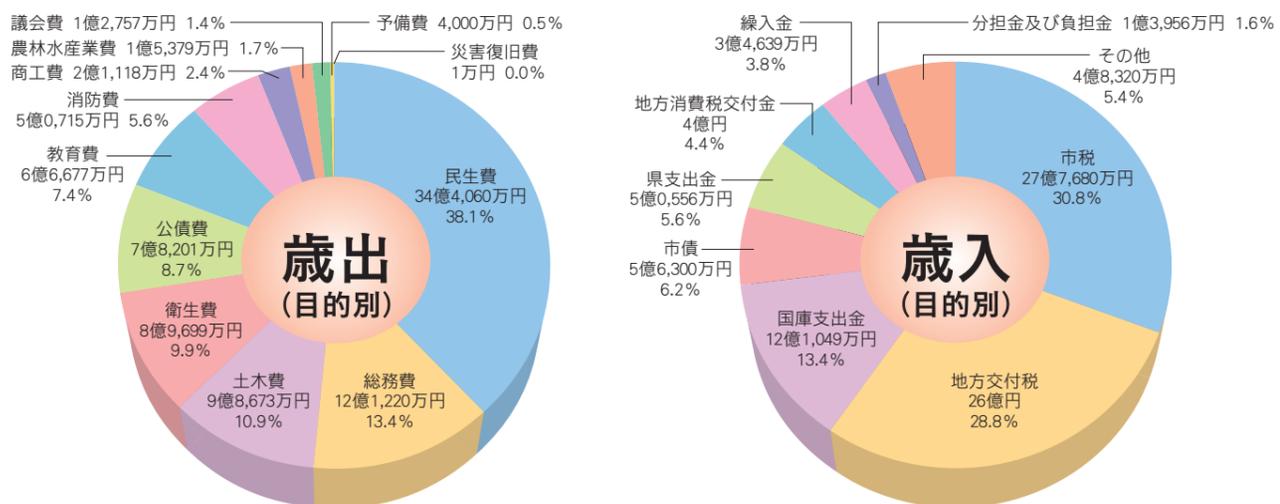


平成27年度 予算概要

一般会計及び9特別会計合わせて、181億2,772万円で、前年度に比べ3,210万円、0.2%の増となり、各会計間の重複額を除いた純計額では、168億5,562万円で、前年度に比べ3,886万9千円、0.2%の増となりました。一般会計は90億2,500万円で、前年度に比べ7,500万円、0.8%の減となりました。

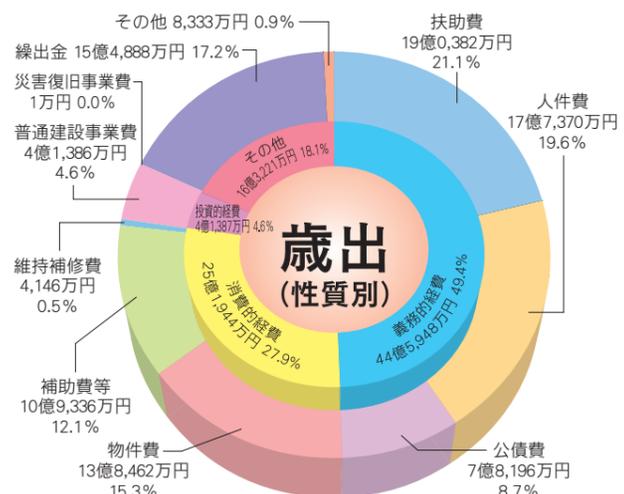
一般会計の歳入（性質別）につきましては、自主財源が36億2,624万7千円で歳入全体の40.2%を占め、前年度に比べ1億7,336万6千円の減となり、依存財源は53億9,875万3千円で歳入全体の59.8%を占め、前年度に比べ9,836万6千円の増となりました。

一般会計予算 90億2,500万円の内訳



特別会計及び事業会計当初予算

会計名	予算額	対前年度増減額	増減率
稲稈財産区特別会計	380万円	250万円増	192.3%増
下田駅前広場整備事業特別会計	710万円	0	0%
公共用地取得特別会計	302万円	0	0%
国民健康保険事業特別会計	38億5,400万円	1億3,900万円増	3.7%増
介護保険特別会計	24億7,750万円	1億0,160万円増	4.3%増
後期高齢者医療特別会計	3億1,300万円	200万円減	0.6%減
集落排水事業特別会計	2,570万円	930万円減	26.6%減
下水道事業特別会計	12億0,900万円	5,700万円減	4.5%減
水道事業会計	12億0,960万円	6,770万円減	5.3%減



～増額となった主なもの～

- ①地方消費税交付金は、平成26年4月の消費税率引上げに伴い、4億円と見込み、前年度に比べ9,000万円の増。
- ②国庫支出金は、障害福祉サービス費、生活保護費、児童福祉費等の増により12億1,049万円と見込み、前年度に比べ2,624万7千円の増。
- ③市債は、第2分団第3部詰所建設事業、敷根1号線道路改良事業等の増により、5億6,300万円と見込み、前年度に比べ2,440万円の増。

～減額となった主なもの～

- ①線入金は、防災基金からの線入れは増となりましたが、財政調整基金線入金、緊急地震・津波対策基金線入金の減により、3億4,638万7千円と見込み、前年度に比べ1億0,084万1千円の減。
- ②県支出金は、地域づくり事業、保育対策等促進事業、起業支援型地域雇用創造事業等の減により、5億0,556万2千円と見込み、前年度に比べ6,948万1千円の減。



④ 安心なまちづくり

安心してまちづくりを目指します

地域防災組織育成事業
（耐震シエルトー整備事業補助金、自主防災会補助金等）
613万2千円

耐震改修支援事業
（個人住宅・ブロック塀・特定建築物耐震化促進事業費補助金）
1,450万2千円

災害発生時に、市と防災関係機関が、いち早く情報を共有

有するための災害対策用防災マップを作成・配布し、人命救助活動、応急復旧活動等に迅速に対応できる体制作りを推進します。

また、各自主防災会や自主防災会連絡協議会への支援を継続し、自助・共助のレベルアップを図ります。

耐震化の促進を図るため、従来のTOUKAIIOを活用し、住宅の耐震化や危険なブロック塀の解消を図ります。

また、新たな取組として、耐震補強の対象住宅のうち補強工事が困難な方に対して、住宅の居室内に設置できる「耐震シエルトー」の整備に

さらに、建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に伴って耐震診断の義務付けられた特定建築物について、耐震診断にかかる費用を助成し、所有者の負担軽減を図ります。

下田地区消防組合負担事務
（下田地区消防組合負担金）
3億6,865万2千円

消防施設等整備事業
（消防団ポンプ車購入等）
2,113万円

第2分団第3部詰所建設事業
4,603万6千円

消防団活動については、従来の消火活動に加え、災害時の救助支援、防災知識の普及啓発、応急手当等の普及指導等に対応する体制整備に努めていくとともに、あらゆる災害に対して、常備消防との連携を図ります。

消防施設の整備については、第10次消防施設整備5か年計画に基づき第1分団第3部のポンプ車の更新を行うとともに、第2分団第3部詰所の統合による新築を行うなど、消防力の充実強化を進めます。

⑤ 持続発展できるまちづくり

税務徴収事務
（コンビニ収納システム改修業務委託）
880万円

納税者の利便性向上のため、平成28年4月からの導入を予定しているコンビニ収納システムの運用に向けた準備を進めていきます。

地域振興事業
（ふるさと応援寄附返礼品関係等）
812万2千円

平成20年度から開始した「ふるさと応援寄附制度」により、寄附をいただいた方に対し、本年度は、記念事業に向けた準備を進めていきます。

また、日露交流発祥の地として、「北方領土の日」を記念した史跡巡りマラソン大会、下田国際友好コンサート等を通じて、日露間の友好、相互理解及び交流の促進に取り組めます。

今年度32回目となるニューポート黒船祭には、市長をはじめ、中学生を含む訪問団で参加し、友好を更に深めます。

中学生にとっては、ホームステイを通じて異文化に直接触れ合う貴重な機会であり、相互理解を深め、視野を広げること、国際社会に貢献できる人材を育てていきます。

なお、沼田市とは昭和41年5月に姉妹都市提携を締結して以来、沼田まつり、黒船祭等を通じて、相互交流を深めてきました。平成28年度には、姉妹都市提携50周年を迎えることから、本年度は、記念事業に向けた準備を進めていきます。

商業振興事業
（住宅リフォーム振興補助金、広告宣伝キャラクター費補助金等）
1,888万3千円

下田商工会議所や、下田市商店会連盟と連携し、「美味しいまちづくりプロジェクト」の事業を実施し、中心市街地への誘客を図ります。

住宅リフォーム振興事業では、市内経済の活性化と市民の住環境向上のため、引き続き実施していきます。

さらに、昨年度下田商工会議所青年部が制作した広告宣伝キャラクターを活用し、市内外のイベント等に参加することで、下田のPRを行います。

新たに避難行動要支援者名簿を作成し、災害時における要支援者対策の充実を図ります。

生活困窮者自立支援事業
（住居確保給付金、自立相談支援事業委託等）
878万円

4月から施行される生活困窮者自立支援法による自立相談支援事業及び住居確保給付金の支給を実施し、生活保護に至る前の生活困窮者を総合的に支援します。

地域防災対策総務事務
（津波避難ビル耐浪調査業務委託、防災マップ作成業務委託等）
8,581万円9千円

また、各自主防災会や自主防災会連絡協議会への支援を継続し、自助・共助のレベルアップを図ります。

耐震化の促進を図るため、従来のTOUKAIIOを活用し、住宅の耐震化や危険なブロック塀の解消を図ります。

また、新たな取組として、耐震補強の対象住宅のうち補強工事が困難な方に対して、住宅の居室内に設置できる「耐震シエルトー」の整備に

さらに、建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に伴って耐震診断の義務付けられた特定建築物について、耐震診断にかかる費用を助成し、所有者の負担軽減を図ります。

下田地区消防組合負担事務
（下田地区消防組合負担金）
3億6,865万2千円

消防施設等整備事業
（消防団ポンプ車購入等）
2,113万円

第2分団第3部詰所建設事業
4,603万6千円

消防団活動については、従来の消火活動に加え、災害時の救助支援、防災知識の普及啓発、応急手当等の普及指導等に対応する体制整備に努めていくとともに、あらゆる災害に対して、常備消防との連携を図ります。

消防施設の整備については、第10次消防施設整備5か年計画に基づき第1分団第3部のポンプ車の更新を行うとともに、第2分団第3部詰所の統合による新築を行うなど、消防力の充実強化を進めます。

⑤ 持続発展できるまちづくり

税務徴収事務
（コンビニ収納システム改修業務委託）
880万円

納税者の利便性向上のため、平成28年4月からの導入を予定しているコンビニ収納システムの運用に向けた準備を進めていきます。

地域振興事業
（ふるさと応援寄附返礼品関係等）
812万2千円

平成20年度から開始した「ふるさと応援寄附制度」により、寄附をいただいた方に対し、本年度は、記念事業に向けた準備を進めていきます。

また、日露交流発祥の地として、「北方領土の日」を記念した史跡巡りマラソン大会、下田国際友好コンサート等を通じて、日露間の友好、相互理解及び交流の促進に取り組めます。

今年度32回目となるニューポート黒船祭には、市長をはじめ、中学生を含む訪問団で参加し、友好を更に深めます。

中学生にとっては、ホームステイを通じて異文化に直接触れ合う貴重な機会であり、相互理解を深め、視野を広げること、国際社会に貢献できる人材を育てていきます。

なお、沼田市とは昭和41年5月に姉妹都市提携を締結して以来、沼田まつり、黒船祭等を通じて、相互交流を深めてきました。平成28年度には、姉妹都市提携50周年を迎えることから、本年度は、記念事業に向けた準備を進めていきます。